

## 2024年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年5月14日

上場会社名 大井電気株式会社

上場取引所 東

TEL 045-433-1361

ユード番号 6822 URL h

6822 URL https://www.ooi.co.jp

(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石田 甲

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理本部長 (氏名) 仁井 克己

定時株主総会開催予定日 2024年6月27日 配当支払開始予定日 -

有価証券報告書提出予定日 2024年6月28日

決算補足説明資料作成の有無:有 決算説明会開催の有無:無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期の連結業績(2023年4月1日~2024年3月31日)

#### (1)連結経営成績

代表者

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益	益	経常利益	<b>±</b>	親会社株主に 当期純利	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期	28, 117	22. 6	919	_	839	_	759	_
2023年3月期	22, 926	△7.3	△466	_	△439	_	△811	_

(注)包括利益 2024年3月期 1,413百万円 (-%) 2023年3月期 Δ819百万円 (-%)

	1 株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1 株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年3月期	583. 30	_	13. 3	3. 7	3. 3
2023年3月期	△624. 04	_	△14.6	△2. 0	△2.0

(参考) 持分法投資損益 2024年3月期 -百万円 2023年3月期 -百万円

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産	
	百万円	百万円	%	円 銭	
2024年3月期	23, 881	7, 993	26. 5	4, 860. 21	
2023年3月期	21, 633	6, 584	23. 6	3, 917. 04	

(参考) 自己資本 2024年3月期 6,331百万円 2023年3月期 5,097百万円

### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年3月期	1, 641	△277	△604	2, 873
2023年3月期	△1,518	△276	367	2, 113

#### 2. 配当の状況

			年間配当金			配当金総額	配当性向	純資産配当率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	(合計)	(連結)	(連結)
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭	百万円	%	%
2023年3月期	_	0.00	_	0.00	0. 00	_	_	_
2024年3月期	_	0.00	_	0.00	0. 00	_	_	_
2025年3月期(予想)	_	0.00	l	0.00	0.00		I	

#### 3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日~2025年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

The state of the s										
	売上	高	営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
第2四半期(累計)	10, 600	3. 9	△300	_	△310	_	△220	_	△168.89	
通期	27, 000	△4. 0	550	△40.2	530	△36.9	300	△60.5	230. 30	

#### ※ 注記事項

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動):無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更:無

 ② ①以外の会計方針の変更
 : 無

 ③ 会計上の見積りの変更
 : 無

 ④ 修正再表示
 : 無

(3)発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数 ③ 期中平均株式数

2024年3月期	1, 470, 000株	│ 2023年3月期 <u>├</u>	1, 470, 000株
2024年3月期	167, 374株	2023年3月期	168,719株
2024年3月期	1, 302, 092株	2023年3月期 1	1, 300, 986株

### (参考) 個別業績の概要

2024年3月期の個別業績(2023年4月1日~2024年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益	益	経常利益	益	当期純利	益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期	15, 597	36. 1	407	_	458	_	659	-
2023年3月期	11, 458	△10.7	△684	_	△595	_	△860	-

	1 株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1 株当たり当期純利益
	円 銭	円銭
2024年3月期	506. 66	_
2023年3月期	△816. 55	

### (2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産	
	百万円	百万円	%	円 銭	
2024年3月期	15, 756	3, 471	22. 0	2, 665. 04	
2023年3月期	15, 104	2, 786	18. 4	2, 141. 14	

(参考)自己資本

2024年3月期

3,471百万円

2023年3月期

2,786百万円

## ※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

## ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

# ○添付資料の目次

	頁
1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	4
(6) 継続企業の前提に関する重要事象等	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
(連結損益計算書)	7
(連結包括利益計算書)	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(セグメント情報等)	12
(1株当たり情報)	14
(重要な後発事象)	14

#### 1. 経営成績等の概況

#### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響の縮小に伴い、社会経済活動の正常化が進みました。しかしながら、世界的なインフレや為替変動、各国の金融引き締め政策の影響や、長期化する地政学リスク等に起因した原材料価格の高騰や円安基調が続いており、景気先行き感は依然として不透明な状況が継続しております。

当社グループをとりまく市場動向につきましては、企業のDX投資の推進等によるデータトラヒックの増大、IoTデバイスの増加による設備投資の増加、2025年以降の次世代スマートメーターシステム導入に向けた市場の拡大により、当社のビジネス参入拡大の機会が見込まれております。

当連結会計年度の売上高につきましては、部材調達問題が解消に向かったことに加え、調達時期の前倒しに向けた継続的な交渉の結実等により生産活動の正常化が急速に進み、特に情報通信機器製造販売が増加した結果、281億17百万円(前年同期比22.6%増)となりました。

損益につきましては、情報通信機器製造販売における売上の増加に加え、人件費削減を含む全社的なコスト削減の 徹底や、材料費、製造コストの販売価格への一部転嫁等の諸施策を実施したことにより、営業利益は9億19百万円 (前年同期は営業損失4億66百万円)、経常利益は8億39百万円(前年同期は経常損失4億39百万円)となりました。以上の損益から繰延税金資産の積み増しに伴う法人税等調整額△3億61百万円(△は益)等を計上した結果、親会社株主に帰属する当期純利益は7億59百万円(前年同期は親会社株主に帰属する当期純損失8億11百万円)となりました。

以下、セグメントの概況をご報告いたします。

#### [情報通信機器製造販売]

光波長多重化伝送装置および電力スマートメーター向け通信機器を中心としたIoT関連装置事業の売上の増加があったため、売上高は154億83百万円(前年同期比36.0%増)となりました。セグメント損益につきましては、材料費、製造コストの販売価格への一部転嫁を含む売上の増加やコスト削減により4億43百万円の利益(前年同期は6億72百万円の損失)となりました。

#### [ネットワーク工事保守]

通信機器工事が増加したため、売上高は126億33百万円(前年同期比9.4%増)となりました。セグメント損益につきましては4億38百万円の利益(前年同期比110.7%増)となりました。

#### (2) 当期の財政状態の概況

### (資 産)

当連結会計年度末における資産の残高は、前連結会計年度末に比べ22億48百万円増加し238億81百万円となりました。

これは主に、商品及び製品が5億51百万円減少、仕掛品が6億82百万円減少、原材料及び貯蔵品が3億60百万円減少したものの、現金及び預金が7億59百万円増加、売掛金が24億30百万円増加、電子記録債権が2億97百万円増加、繰延税金資産が2億68百万円増加したことによります。

#### (負 債)

当連結会計年度末における負債の残高は、前連結会計年度末に比べ8億39百万円増加し158億88百万円となりました。

これは主に、短期借入金が5億円減少、退職給付に係る負債が4億75百万円減少したものの、支払手形及び買掛金が2億89百万円増加、未払金が6億37百万円増加、未払法人税等が1億61百万円増加、未払消費税等が4億13百万円増加、賞与引当金が2億7百万円増加したことによります。

#### (純資産)

当連結会計年度末における純資産の残高は、前連結会計年度末に比べ14億8百万円増加し79億93百万円となりました。

これは主に、利益剰余金が親会社株主に帰属する当期純利益の計上により7億58百万円増加、退職給付に係る調整累計額が3億84百万円増加、非支配株主持分が1億74百万円増加したことによります。

### (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ7億59百万円増加(前年同期比35.9%増)し、当連結会計年度末には28億73百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により増加した資金は16億41百万円(前年同期は15億18百万円の減少)となりました。

これは主に、売上債権の増加による資金の減少が26億76百万円あったものの、税金等調整前当期純利益が8億円、減価償却費が3億92百万円、賞与引当金の増加が2億7百万円、棚卸資産の減少による資金の増加が15億94百万円、仕入債務の増加による資金の増加が3億45百万円、未払消費税等の増加による資金の増加が4億13百万円、未払金の増加による資金の増加が6億34百万円あったことによります。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により減少した資金は2億77百万円(前年同期は2億76百万円の減少)となりました。

これは主に、投資有価証券の売却により資金が1億30百万円増加したものの、固定資産の購入により資金が3億87百万円減少したことによります。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により減少した資金は6億4百万円(前年同期は3億67百万円の増加)となりました。 これは主に、短期借入金の返済により資金が5億円減少したことによります。

なお、当社グループのキャッシュ・フロー指標のトレンドは下記のとおりであります。

	2023年3月期	2024年3月期
自己資本比率 (%)	23.6	26. 5
時価ベースの自己資本比率 (%)	16. 2	10. 3
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (年)	_	4.0
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	_	13. 4

自己資本比率:自己資本/総資産

時価ベースの自己資本比率:株式時価総額/総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率:有利子負債/キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ:営業キャッシュ・フロー/利払い

- ※ 各指標は、いずれも連結ベースの財務数値により算出しております。
- ※ 株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式数(自己株式控除後)により算出しております。
- ※ キャッシュ・フローは連結キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを使用しております。有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っているすべての負債を対象としております。また、利払いについては、連結キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。
- ※ 2023年3月期については、営業活動によるキャッシュ・フローがマイナスのため、キャッシュ・フロー対有利 子負債比率及びインタレスト・カバレッジ・レシオは記載しておりません。

#### (4) 今後の見通し

情報通信機器製造販売につきましては、スマートメーター関連通信機器の堅調な需要に加え、光波長多重伝送装置関連では引き続き一定の受注が見込まれており、また I o T 関連における新規事業の受注拡大及び受注増加に対応可能な生産体制の構築を進めることで売上の確保を見込んでおります。利益につきましては、部材価格の高騰が継続することによる製造原価の増加が見込まれますが、①成長性事業へ開発リソースを重点投資することによる選択と集中の加速、②製品の差別化提案と他社に先駆けたリリースによるシェア確保、③労務費を含めた製造原価上昇分の販売価格への転嫁の取組み継続、④部品の共通化・集約化による棚卸資産の削減と効率化により、黒字化の定着及び資産効率の向上を目指してまいります。

ネットワーク工事保守事業につきましては、5 G環境の構築が概ね完了したことにより基地局関連工事案件は減少傾向にあるものの、電力向け工事案件は引き続き継続的な需要が見込まれており、またメーカー等への積極的な情報収集と提案により売上の拡大を目指します。利益につきましては、全体として厳しい価格競争は継続しておりますが、受注機会を逃すことのないよう、社員のスキルアップに加え、I C T や アウトソースの活用範囲拡大による生産性向上により、利益確保を目指します。

以上のことから、次期の見通しにつきましては、売上高270億円、営業利益5億50百万円、経常利益5億30百万円、親会社株主に帰属する当期純利益3億円を予想しております。業績見通しの前提となる為替レートにつきましては、1 US \$ = 145.0円を想定しております。

#### (5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社グループは、中長期的な企業価値の向上を基本目標としつつ、利益配分については、当期の業績及び今後の業績動向を踏まえ、投資家の皆様への安定的な配当の継続、将来への成長投資、財務体質の強化等を総合的に勘案して行ってまいります。また、内部留保資金につきましては、将来の事業展開や今後の急速な技術革新に備え、新製品・新技術の研究開発投資並びに設備投資等に充当することにより、業績の向上に努め、体質の強化を図ってまいります。

当期の期末配当につきましては、会社法で定められている配当に必要な分配可能額を下回ることから、本日公表の「剰余金の配当 (無配)に関するお知らせ」のとおり、見送り (無配)とさせていただきました。

次期の年間配当金につきましては、現時点の計画では依然として分配可能額を下回る見通しであるため、見送り (無配)を予定しております。

### (6) 継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループは、過年度において情報通信機器製造販売における部材長納期化問題の影響を強く受けたため、生産に必要な一部主要部材確保の目処が立たないこと等により生産活動が停滞し、売上が大幅に減少した結果、2期連続で営業損失及びマイナスの営業キャッシュ・フローを計上しており、これらの状況により、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象または状況が存在しておりました。

これに対し、当該年度においては調達環境の改善が進んだことに伴う重要な大型受注案件の売上確保、増加コストの販売価格への転嫁や人件費・経費等のコスト削減の推進を中心とした収益基盤の改善施策を推進した結果、営業利益9億19百万円を計上いたしました。また財務面におきましても、部材在庫の管理強化により資産効率を高める等の財務基盤の健全化施策の月次管理を引き続き実行することにより、営業キャッシュ・フローにおいて16億41百万円の資金の増加がありました。

以上のことから、部材長納期化問題に起因する業績及び財政悪化の状態は大幅に改善しており、継続企業の前提に 重要な疑義を生じさせるような事象または状況は解消したと判断しております。

#### 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループの業務は現在日本国内が中心であるため、当面は日本基準を採用することとしておりますが、今後の当社グループを取り巻く状況及び国内他社のIFRS(国際財務報告基準)採用動向等を踏まえつつ、IFRS適用の検討を進めていく方針であります。

# 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2, 123, 514	2, 883, 021
受取手形	44, 052	27, 600
売掛金	5, 980, 940	8, 411, 591
契約資産	229, 737	314, 607
電子記録債権	325, 708	623, 255
商品及び製品	1, 261, 879	710, 568
仕掛品	4, 778, 000	4, 095, 354
原材料及び貯蔵品	1, 971, 738	1, 611, 587
その他	137, 476	165, 533
貸倒引当金	△2,710	△3,824
流動資産合計	16, 850, 338	18, 839, 296
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	4, 186, 958	4, 196, 615
減価償却累計額	△3, 178, 113	$\triangle 3, 249, 147$
建物及び構築物(純額)	1, 008, 845	947, 467
機械装置及び運搬具	797, 279	808, 486
減価償却累計額	$\triangle 753,764$	$\triangle$ 767, 170
機械装置及び運搬具(純額)	43, 515	41, 316
工具、器具及び備品	3, 330, 100	3, 352, 552
減価償却累計額	$\triangle 2,977,194$	$\triangle 3,000,598$
工具、器具及び備品(純額)	352, 906	351, 953
土地	1, 312, 178	1, 312, 178
リース資産	70, 151	88, 078
減価償却累計額	$\triangle$ 36, 622	$\triangle 45,543$
リース資産 (純額)	33, 528	42, 535
建設仮勘定	54, 966	_
有形固定資産合計	2, 805, 940	2, 695, 451
無形固定資産	640, 621	747, 854
投資その他の資産	,	
投資有価証券	664, 255	648, 207
長期貸付金	3, 168	3, 549
繰延税金資産	387, 425	656, 051
その他	282, 250	292, 251
	△704	△704
投資その他の資産合計	1, 336, 395	1, 599, 356
固定資産合計	4, 782, 958	5, 042, 661
資産合計	21, 633, 296	23, 881, 958

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2, 030, 482	2, 319, 534
電子記録債務	44, 523	110, 541
短期借入金	6, 530, 000	6, 030, 000
1年内返済予定の長期借入金	80, 080	54, 756
リース債務	14, 724	17, 945
未払金	1, 054, 208	1, 691, 448
未払法人税等	82, 847	244, 720
未払消費税等	148, 488	562, 059
賞与引当金	569, 948	777, 687
役員賞与引当金	10, 380	13, 811
工事損失引当金	375, 128	315, 562
資産除去債務	681	681
その他	502, 852	708, 415
流動負債合計	11, 444, 345	12, 847, 163
固定負債		
長期借入金	503, 110	448, 354
リース債務	22, 702	29, 401
役員退職慰労引当金	27, 173	30, 822
繰延税金負債	43, 277	_
退職給付に係る負債	2, 883, 498	2, 408, 237
資産除去債務	84, 781	84, 781
その他	39, 756	39, 718
固定負債合計	3, 604, 299	3, 041, 315
負債合計	15, 048, 645	15, 888, 478
純資産の部		
株主資本		
資本金	2, 708, 389	2, 708, 389
資本剰余金	1, 401, 317	1, 401, 317
利益剰余金	1, 482, 050	2, 240, 116
自己株式	△521, 905	△517, 704
株主資本合計	5, 069, 851	5, 832, 118
その他の包括利益累計額		-,,
その他有価証券評価差額金	165, 245	252, 365
退職給付に係る調整累計額	△137, 933	246, 547
その他の包括利益累計額合計	27, 311	498, 912
非支配株主持分	1, 487, 488	1, 662, 447
純資産合計	6, 584, 651	7, 993, 479
負債純資産合計		
只识吧具座口司	21, 633, 296	23, 881, 958

# (2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 (連結損益計算書)

		(単位:1円)
	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
+1 ÷		·
売上高	22, 926, 723	28, 117, 680
売上原価	18, 889, 659	22, 742, 344
売上総利益	4, 037, 063	5, 375, 336
販売費及び一般管理費	4, 503, 714	4, 456, 330
営業利益又は営業損失(△)	△466, 650	919, 006
営業外収益		
受取利息	121	119
受取配当金	22, 695	26, 379
受取賃貸料	27, 897	27, 853
保険解約返戻金	18, 719	_
その他	35, 666	45, 034
営業外収益合計	105, 100	99, 387
営業外費用		
支払利息	59, 278	125, 542
為替差損	5, 136	50, 931
その他	13, 565	2,055
営業外費用合計	77, 981	178, 529
経常利益又は経常損失(△)	△439, 531	839, 864
特別利益		•
固定資産売却益	29, 407	_
投資有価証券売却益	20, 429	47, 822
特別利益合計	49, 837	47, 822
特別損失	10,000	1., 022
固定資産売却損	23, 142	<u> </u>
投資有価証券評価損	=	87, 103
特別損失合計	23, 142	87, 103
- 税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損 失(△)	△412, 836	800, 583
法人税、住民税及び事業税	73, 663	276, 008
法人税等調整額	188, 794	$\triangle 361,958$
法人税等合計	262, 458	△85, 949
当期純利益又は当期純損失 (△)	$\triangle 675, 294$	886, 533
ヨ朔純利益スはヨ朔純損犬(△) 非支配株主に帰属する当期純利益		
	136, 568	127, 023
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に 帰属する当期純損失(△) 	△811, 863	759, 509

## (連結包括利益計算書)

			(事位・111)
•		前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
	当期純利益又は当期純損失 (△)	△675, 294	886, 533
	その他の包括利益		
	その他有価証券評価差額金	17, 072	100, 226
	退職給付に係る調整額	△161, 129	426, 330
	その他の包括利益合計	△144, 056	526, 556
	包括利益	△819, 351	1, 413, 089
	(内訳)		
	親会社株主に係る包括利益	△937, 266	1, 231, 110
	非支配株主に係る包括利益	117, 915	181, 979

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	2, 708, 389	1, 401, 317	2, 294, 557	△525, 563	5, 878, 699
当期変動額					
剰余金の配当					_
親会社株主に帰属する当期純損 失(△)			△811, 863		△811, 863
自己株式の取得				△117	△117
自己株式の処分		△643		3, 776	3, 132
自己株式処分差損の振替		643	△643		_
株主資本以外の項目の当期変動 額(純額)					
当期変動額合計	1	-	△812, 506	3, 658	△808, 848
当期末残高	2, 708, 389	1, 401, 317	1, 482, 050	△521, 905	5, 069, 851

	7	その他の包括利益累計	額		
	その他有価証券評 価差額金	退職給付に係る調 整累計額	その他の包括利益 累計額合計	非支配株主持分	純資産合計
当期首残高	150, 020	2, 694	152, 714	1, 373, 785	7, 405, 199
当期変動額					
剰余金の配当				△4, 212	△4, 212
親会社株主に帰属する当期純損 失(△)					△811, 863
自己株式の取得					△117
自己株式の処分					3, 132
自己株式処分差損の振替					_
株主資本以外の項目の当期変動 額(純額)	15, 225	△140, 627	△125, 402	117, 915	△7, 487
当期変動額合計	15, 225	△140, 627	△125, 402	113, 703	△820, 547
当期末残高	165, 245	△137, 933	27, 311	1, 487, 488	6, 584, 651

## 当連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	2, 708, 389	1, 401, 317	1, 482, 050	△521, 905	5, 069, 851
当期変動額					
剰余金の配当					_
親会社株主に帰属する当期純利益			759, 509		759, 509
自己株式の取得				△61	△61
自己株式の処分		△1, 443		4, 262	2, 819
自己株式処分差損の振替		1, 443	△1, 443		_
株主資本以外の項目の当期変動 額(純額)					
当期変動額合計	-	-	758, 065	4, 201	762, 267
当期末残高	2, 708, 389	1, 401, 317	2, 240, 116	△517, 704	5, 832, 118

	7	その他の包括利益累計	頂		純資産合計
	その他有価証券評 価差額金	退職給付に係る調 整累計額	その他の包括利益 累計額合計	非支配株主持分	
当期首残高	165, 245	△137, 933	27, 311	1, 487, 488	6, 584, 651
当期変動額					
剰余金の配当				△7, 020	△7, 020
親会社株主に帰属する当期純利益					759, 509
自己株式の取得					△61
自己株式の処分					2, 819
自己株式処分差損の振替					
株主資本以外の項目の当期変動 額(純額)	87, 119	384, 481	471, 601	181, 979	653, 580
当期変動額合計	87, 119	384, 481	471, 601	174, 959	1, 408, 828
当期末残高	252, 365	246, 547	498, 912	1, 662, 447	7, 993, 479

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	王 2023年3月31日/	王 2024年 3 月 31 日 /
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純		
恍並寺嗣笙削ヨ朔杷利益又は恍並寺嗣笙削ヨ朔杷 損失 (△)	△412, 836	800, 58
減価償却費	413, 446	392, 40
株式報酬費用	5, 071	2, 75
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△259	1, 11
賞与引当金の増減額(△は減少)	$\triangle 221,045$	207, 73
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	2, 580	3, 43
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	10, 830	3, 64
工事損失引当金の増減額(△は減少)	195, 452	$\triangle 59, 56$
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	$\triangle 39,915$	△48, 93
受取利息及び受取配当金	△22, 816	$\triangle 26,49$
支払利息	59, 278	125, 54
固定資産売却損益(△は益)	△6, 265	<u> </u>
投資有価証券売却損益(△は益)	△20, 429	△47, 82
投資有価証券評価損益(△は益)		87, 10
売上債権の増減額(△は増加)	△110, 345	$\triangle 2,676,83$
棚卸資産の増減額(△は増加)	$\triangle 1, 419, 127$	1, 594, 10
その他の資産の増減額 (△は増加)	10, 105	12,00
仕入債務の増減額(△は減少)	155, 144	345, 17
未払消費税等の増減額(△は減少)	119, 474	413, 57
未払金の増減額(△は減少)	$\triangle 47,635$	634, 92
その他の負債の増減額 (△は減少)	$\triangle 45,713$	63, 07
その他	672	2
小計	△1, 374, 334	1, 827, 55
利息及び配当金の受取額	22, 816	26, 49
利息の支払額	△59, 694	$\triangle 122,47$
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	$\triangle 107,772$	△90, 15
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1, 518, 985	1, 641, 42
<u></u> 投資活動によるキャッシュ・フロー	_ , ,	, ,
有形固定資産の取得による支出	△227, 981	△167, 92
有形固定資産の売却による収入	92, 571	
無形固定資産の取得による支出	△183, 435	△219, 15
投資有価証券の取得による支出	$\triangle 7,001$	
投資有価証券の売却による収入	51, 944	130, 86
貸付けによる支出	△588	$\triangle 2,08$
貸付金の回収による収入	1, 549	1,70
その他	$\triangle 3,254$	$\triangle$ 17, 46
投資活動によるキャッシュ・フロー	△276, 196	△277, 88
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	500, 000	△500, 00
リース債務の返済による支出	△15, 431	△16, 87
長期借入金の返済による支出	△112, 344	△80, 08
自己株式の取得による支出	△117	△6
非支配株主への配当金の支払額	$\triangle 4,212$	$\triangle 7,02$
財務活動によるキャッシュ・フロー	367, 895	△604, 03
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1, 427, 286	759, 50
現金及び現金同等物の期首残高	3, 540, 801	2, 113, 51
現金及び現金同等物の期末残高 現金及び現金同等物の期末残高	2, 113, 514	2, 873, 02

(5) 連結財務諸表に関する注記事項 (継続企業の前提に関する注記) 該当事項はありません。

#### (セグメント情報等)

#### 1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、情報通信機器の製造販売及びネットワークの工事保守を主な事業内容としており、当社及び当社の連結子会社がそれぞれ独立した経営単位として、事業活動を展開しております。

したがって、当社グループは、連結会社を基礎とした業種別のセグメントから構成されており、「情報通信機器製造販売」及び「ネットワーク工事保守」の2つを報告セグメントとしております。

「情報通信機器製造販売」は、主に光伝送システム、セキュリティ・監視システム、リモート計測・センシングシステム、無線応用システムの関連機器を製造販売しております。「ネットワーク工事保守」は、主に通信設備、光ネットワーク、CATV等の工事及び保守を行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法 報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表を作成するために採用される会計方針に準拠し た方法であります。

棚卸資産の評価については、収益性の低下に基づく簿価切下げ前の価額で評価しております。 報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。 セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報 前連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

	報告セク		
	情報通信機器 製造販売	ネットワーク 工事保守	合計
売上高			
外部顧客への売上高	11, 381, 057	11, 545, 666	22, 926, 723
セグメント間の内部売上高又は振替高	200, 487	443, 027	643, 515
計	11, 581, 544	11, 988, 693	23, 570, 238
セグメント利益又は損失 (△)	△672, 926	208, 278	△464, 648
セグメント資産	15, 156, 001	7, 175, 971	22, 331, 972
その他の項目			
減価償却費	347, 296	66, 149	413, 446
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	356, 555	83, 875	440, 431

## 当連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位:千円)

	報告セク	報告セグメント		
	情報通信機器 製造販売	ネットワーク 工事保守	合計	
売上高				
外部顧客への売上高	15, 483, 833	12, 633, 847	28, 117, 680	
セグメント間の内部売上高又は振替高	191, 171	400, 533	591, 705	
計	15, 675, 005	13, 034, 380	28, 709, 386	
セグメント利益	443, 784	438, 765	882, 549	
セグメント資産	15, 770, 583	8, 567, 334	24, 337, 917	
その他の項目				
減価償却費	343, 537	48, 867	392, 405	
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	338, 620	50, 552	389, 173	

## 4. 報告セグメント合計額と連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

売上高	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	23, 570, 238	28, 709, 386
セグメント間取引消去	△643, 515	△591, 705
連結財務諸表の売上高	22, 926, 723	28, 117, 680

(単位:千円)

利益	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	△464, 648	882, 549
セグメント間取引消去	△2, 002	36, 456
連結財務諸表の営業利益又は営業損失(△)	△466, 650	919, 006

資産	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	22, 331, 972	24, 337, 917
セグメント間取引消去	△698, 675	△455 <b>,</b> 959
連結財務諸表の資産合計	21, 633, 296	23, 881, 958

## (1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
1株当たり純資産額	3,917.04円	4, 860. 21円
1 株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失 (△)	△624. 04円	583. 30円

- (注) 1. 当連結会計年度の潜在株式調整後 1 株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。なお、前連結会計年度の潜在株式調整後 1 株当たり当期純利益については、1 株当たり当期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
  - 2. 1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株 主に帰属する当期純損失(△)(千円)	△811, 863	759, 509
普通株主に帰属しない金額(千円)	_	
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利 益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△) (千円)	△811, 863	759, 509
普通株式の期中平均株式数(千株)	1, 300	1, 302

3. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当連結会計年度 (2024年3月31日)
純資産の部の合計額 (千円)	6, 584, 651	7, 993, 479
純資産の部の合計額から控除する金額 (千円)	1, 487, 488	1, 662, 447
(うち非支配株主持分(千円))	(1, 487, 488)	(1, 662, 447)
普通株式に係る期末の純資産額 (千円)	5, 097, 163	6, 331, 031
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の 普通株式の数 (千株)	1, 301	1, 302

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。